

講義名称	子ども家庭福祉	担当教員名	坂井 勉
科目群	専門科目 (M) CA1・DI1・DI2		
科目区分等	保育の本質・目的に関する科目 必修	単 位	2
対象学年次	1年・秋学期	ナンバリング	CMEG1103

授業のキーワード	子どもの最善の利益、子どもの権利条約、児童福祉法、児童福祉施設、社会的養護、虐待、子育て支援
授業の概要	児童福祉法で最も大事な「児童を心身ともに健やかに育成する」ために、子ども・家庭・社会が理解しあい、支え合うための見方、考え方、社会の仕組みを学習します。
期待される学習成果 (目標)	保育士として子どもと家庭が抱える問題について、知識として身につけるだけでなく、実際の子どもや親と関わりながら、その状態・状況を理解し、必要な支援を考え、適切な福祉サービスにつなげていけるようにします。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション、子ども家庭福祉とは	子ども家庭福祉の理念と概念。子ども家庭福祉の内容、課題、実践対象、方法を考えます。
2	子ども家庭福祉の歴史の変遷	子ども家庭福祉の海外の変遷、日本の歴史の変遷、先駆者について学びます。
3	現代社会と子ども家庭福祉	現代社会の子育ての実態と児童福祉の必要性。現代家庭のあり方について学びます。
4	子どもの人権擁護	国際的変遷、児童の権利に関する条約、第三者評価、苦情解決について考えます。
5	社会的養護と児童養護施設	児童養護施設の生活を通して、家庭で暮らせない子どもへの施設での支援について考えます。
6	子ども家庭福祉の制度と法体系	保育に関する諸制度、保育・福祉の法体系、児童虐待防止法について学びます。
7	家族を知る	家族を理解する方法について、学び、体験してみます。
8	児童福祉施設等	社会的養護関係施設の概要と法的枠組み、福祉サービスについて学びます。
9	子ども家庭福祉の専門職・実施者	養護系、障害児施設、保育所、住民参加、里親による子育てを学びます。
10	少子化と子育て支援サービス、母子保健	子育て支援施策の変遷と現代の施策の概要について学びます。
11	母子保健と児童の健全育成	母子保健、健全育成、多様なニーズ対応について学び、小さな変化を起こす方法を体験してみます。
12	児童虐待、ドメスティック・バイオレンス	児童虐待の実態と対応・DV家庭等に出会った時、どのように対応したら良いか考えます。
13	障害のある児童、少年非行等への対応	在宅障害児童の暮らしと支援制度、少年非行について学びます。
14	今後の子どもの家庭福祉について	母子家庭、父子家庭、食育基本法から、今後の子ども家庭福祉に求められるものを考えます。
15	子ども家庭福祉の動向と展望・まとめ	次世代育成支援、保育所の社会的責任、諸外国の状況、今後の動向について考えます。

定期試験	授業で学習した内容について筆記試験を行います。
授業時間外学習	保育士として働く自分を日常的に意識して、授業に臨んでください。
評価方法	学期末試験60%、授業態度・提出物40%により評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	「児童の福祉を支える子ども家庭福祉」 吉田眞理著 萌文書林
参考文献	必要なものはその都度授業の中で提示します。